

平成22年2月期

製造業

◇味噌…全国レベルの業界出荷量は前年比やや減少となっている模様。

◇納豆…流通からの値下げ要請に応えると中小は赤字になる状況。中小はかなり厳しい経営を強いられている。

◇菓子…天候にも恵まれず客足は鈍く、特に洋菓子・チョコレート類は低調で推移。全体でも景況は弱含みであった。

◇パン…非常に厳しい状況。特に学校給食に関しては米中心になっており日数が激減、児童数も減少し最悪である。

◇酒…1月の県内全体の課税移出数量は前年同月比92.9%と4ヶ月連続の前年割れとなり、減少幅も増加しつつある。外食での飲酒代も減少傾向にあり、業務用酒類の落込みは一段と深刻。

◇繊維製品(袋物)…中国の旧正月と新学期用の商材が重なり、各社ともかなり仕事量を確保できた。しかし、単価を安く抑えられており収益は悪化。

◇木材…2月も荷動きは低調のまま推移。住宅需要は雇用や所得環境の悪化により冷え込んでおり、資材の流れも不振が続いている。今後、住宅版エコポイント制度を積極的に活用した需要の掘り起こしが期待される。

◇プレカット…今年に入ってから大きな変化は無い。2月にCADのバージョンアップをした。

◇段ボール…得意先の業種等によって状況が分かれた。一部であるが世の中が動き出した兆しが見える。ただし勢いは無いので4月以降どうなるか分からない。

◇印刷(総合)…昨年比で従業員数は21事業所で計62名減。全体に占める削減率は6.5%。企業は雇用を減らして事業を維持しているのが現状。

◇鍍金…受注量は鍍金業界で前年比20%程度増加。しかし、前々年比では依然20%程度の落込みで、客先の値下げ要求等もあり予断を許さない状況。

◇重電…作業量減少し厳しい状況。

◇電化機器…生産高は674.9百万円、対前年同月比248百万円増。内訳は、昨年急激な減産に見舞われた自動車関連が268.3百万円増に対し、家電関連が20百万円減となった。

◇自動車部品…売上高やや増加するが依然厳しい状況が続いている。

◇工業団地(農機部品)…組合員7社の売上状況は前年同月比全社で減少。全体では前年比83%。

非製造業

◇セメント卸…袋セメント出荷数は前年同月比約20%の減少。建設工事の減少によるもので市況の悪化を懸念。

◇水産卸…精算所取扱高は前年同月比3.14%の減。消費不振により厳しい状況が続いている。

◇県南地区卸売業…売上は総じてやや増加傾向。受注増加により倉庫が手狭となった組合員企業に組合所有の倉庫を賃貸。

◇県西地区卸売業…肥料関係会社から3月で廃業したいとの届出があり、跡地をどうするか協議中。

◇県南地区共同店舗…売上・客数ともに下げ幅が拡大した。大型商業施設等への商圈の移動や景気の低迷に加え、天候にも若干左右された。

◇県北地区共同店舗…既存店は何とか頑張るも空店舗が目立つようになり、色々な面で不安定な状態が続く。

◇家電…冬季オリンピック、エコポイント、デジサポ説明会の影響で、デジタルテレビが好調で全体を持ち上げた。

◇書籍…売上不振が続いている。昨年の書店の廃業数は全国で950店舗あまりで郊外型店舗での廃業が目立っている。

◇石油…ガソリン販売価格は前年同月比20円上昇しているが、需要低迷でマージンを圧縮しての販売競争が続いており、廃止・廃業に追い込まれる組合員が増加。

◇中古自動車…記念オークションを除き出品台数は依然として減少している。3月の決算月に期待。

◇自動車整備…2月期の県全体の検査台数(指定整備は除く)は、普通車が4.3%、軽自動車が2.2%とそれぞれ減少。両車併せての全体の業務量は3.5%の減少。

◇ホテル・旅館…業況は悪化しており早期回復が望まれる。

◇総合建設…年度切替月の4月は工事量の少ない時期だが、本年は特に官公需発注は数本しかなく手持ち工事も少ない。早期に景気対策としての先行工事発注に期待。

◇交通安全施設業…県の公共事業費16%マイナスに不安を覚える。

◇管工事…1月の景況と全く変わらず、回復の兆しは見られない。

◇県北地区運輸…主要顧客の出荷物量は低迷しており、既存顧客に廃業する会社も出てきている。燃料価格は値上りしており収益は苦しい状況が続いている。

◇県央地区軽貨物…対前年同月比で輸送量の50%減少が続いている。運搬料の値引き交渉も多くなり不採算作業が発生。収益が悪化し経営状況は非常に厳しい。

H22.2月の業界天気図

業種	指数	売上		収益状況	
		前年同月比		前年同月比	
食料品業		 ▲100.0	 ▲66.7		
その他業		 ▲35.0	 ▲55.0		
卸売業		 ▲50.0	 ▲75.0		
小売業(商店街を含む)		 ▲54.5	 ▲63.6		
サービス業		 ▲50.0	 ▲50.0		
建設業		 ▲100.0	 ▲100.0		
運輸業		 ▲100.0	 ▲100.0		
全体		 ▲58.0	 ▲66.0		

【天気図の見方】県内情報連絡員から毎月いただいている情報連絡票の景況項目について、「増加」(又は、「好転」)業種割合から「減少」(又は「悪化」)業種割合を差し引いた値(D.I値)をもとに作成しています。その基準は、下図のとおりです。

				
30以上	10~30未満	10未満~▲10	▲10超~▲30未満	▲30以上

※表の中の数値はD.I値